

## 令和5年度（2023）社会福祉法人すぎやまの家 基本方針

### 基本方針

1. 法人理念を実現するため 杉山寮、杉山ホーム、相談支援事業の連携を諮る。

- ・各事業間において連携を大切にするとともに部署を問わず全員で情報を共有する。

2. 社会福祉法人すぎやまの家各事業の人材確保に努める。

- ・人材確保について、職員間の連携を諮る（知り合い、縁故関係含めた情報共有）とともに、各セミナー、各説明会に積極的に参加する。

3. 地域との連携、他法人との連携を諮り、高島市における障害福祉の増進に寄与したい。

- ・就労移行支援、地域生活への移行支援、障害を持つ人の緊急時の受け入れ等について各事業所が連携を諮ることが大切である。
- ・障害程度区分での3～5（中間層）の人たちへの支援について協議/方策が必要であると考える。

基本  
方針

# 令和5年度（2023）杉山寮・杉山ホーム 目標

～コロナ禍であっても利用者が満足できることを考え行動する～

## 1. 権利擁護と人権尊重

- ・利用者の主訴に耳を傾け、ニーズ把握に努めます。
- ・利用者一人一人のことを考え行動します。
- ・障害者虐待防止研修会をはじめとし、各種研修会に参加することにより、権利擁護の視点の再確認し、自己研鑽に努めます。不適切ケアの段階で、お互いが指摘しあい、利用者が不利益にならないように努めます。

## 2. 職員間の連携および人材確保に努める

- ・基本である「報告・連絡・相談」を行い、縦のつながりだけでなく、横の連携（部署であり、他事業所など）をしっかりと行いながら、職務職責の遂行に努めます。
- ・困っていること、悩んでいることを職員相互が気づける職場をつくり、上司同僚に相談できるように努めます。

## 3. 各事業所との連携および地域との連携

- ・外部との連携を利用し、施設での困りごとなどの発信、また地域での困りごとの把握などに努めていく。
- ・積極的な短期入所の受け入れを行い、地域のニーズに少しでも寄り添えるようにする。
- ・高島市における地域生活支援拠点等事業にともない、杉山寮での役割（利用者の緊急時受入等）を担っていく。
- ・災害および感染症（BCP）を完成させ、訓練および研修会を実施する。
- ・利用者が必要とする支援を取り入れられるように、情報収集に努めます。
- ・空き室利用をしてもらえるように情報発信を行う。積極的に見学等を受け入れる。
- ・SNSなどを利用し、情報発信を定期的に行います。

## 令和5年度（2023）相談支援事業・ひろかわ 目標

1. つつがなく計画相談及びモニタリングを実施する。

- (1) 本人及び家族等に対する丁寧な聞き取り実施
- (2) 遅滞なくサービス等利用計画及びモニタリング報告書を作成・送付

2. 関係者及び関係機関との連携に努める。

- (1) 杉山寮、杉山ホームほかサービス実施機関との情報共有
- (2) 高島市障がい者自立支援協議会、相談支援連絡会、高島市地域生活支援拠点等事業運営会議、滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会との協力関係維持
- (3) 杉山寮、杉山ホームの補助

3. 各種研修会等を実施する。

- (1) 障害者虐待防止
- (2) ハラスメント防止
- (3) 救急救命措置
- (4) B C P（災害・感染症）訓練等
  - ① 避難確保計画チェックリストの実施
  - ② 災害及び新型インフルエンザ等の発生時における業務継続計画に係る見直し  
〈案〉の策定等
  - ③ 感染症対策ガイドライン〈案〉の策定等

相談目標